2019 年度防災訓練
（災害時情報通信訓練）
南海トラフ大震災想定訓練

（2020 年 1 月 29 日定例会見）

お問い合わせ先
日本医師会地域医療課
（TEL:03-3946-2121（代））

１．趣旨

公益社団法人日本医師会（日本医師会）は、災害対策基本法上の「指定公共機関」（2014 年 8 月 1 日付指定）として、災害時における都道府県医師会等との連携及び JMAT（日本医師会災害医療チーム）による活動の充実を図るため、関係機関・団体や事業者の協力の下、大規模災害を想定した防災訓練（災害時情報通信訓練）を実施いたします。

本訓練は、昨年度まで宇宙航空研究開発機構（JAXA）との協定に基づくインターネット衛星「きずな」による衛星利用実証実験として実施しておりましたが、きずなの運用終了を受け、本年度は宇宙技術開発(SED)によるサポートの下、スカパーJSAT の通信衛星「JCSAT」を活用した内容になります。さらに、例年通り NTT ドコモ「ワイドスターⅡ」、本会“JMAP”等も利用します。

また、日本医師会 JMAT ロジスティクス研修（2020 年 1 月 13 日実施）の内容を踏まえ、各都道府県医師会において、JMAT の登録や活動報告、J-SPEED への入力と本部サイトの閲覧（被災地の疾病構造等）も行います。（模擬患者の搬送や診療等は行いません）

２．日時：2020 年 2 月 5 日（水）13 時 30 分～17 時

※　災害発生～JMAT 活動期間を中心とした対応訓練を数時間で実施。

３．場所：（日本医師会）日本医師会館小講堂・ホール

４．主要想定地域：三重県を中心とする地域

５．内容（「７．情報共有手段の概要」参照）

・災害発生時における日本医師会・被災都道府県医師会間での協議
・日本医師会より都道府県医師会に対する JMAT の編成・派遣の要請
・被災都道府県医師会等からの現地報告、Web 等による情報共有
・上記の訓練内容を日本医師会と都道府県医師会との TV 会議により行う。

６．参加者（予定）

〇公益社団法人日本医師会

〇都道府県医師会・郡市区医師会

・想定被災地

・公益社団法人三重県医師会（スカパーJSAT JCSAT による TV 会議参加）

・一般社団法人伊勢地区医師会（ワイドスターⅡ、TV 会議参加）

・支援 JMAT

・公益社団法人神奈川県医師会（同県医災害時医療救護本部からスカパーJSAT 衛星 JCSAT による TV 会議参加）

・（調整中）統括 JMAT を派遣する都道府県医師会

・全国の都道府県医師会

＜視察、講評＞

〇関係官公庁

〇被災者健康支援連絡協議会構成団体

〇日本環境感染学会（DICT）

〇日本災害医学会、DMAT 事務局

＜情報通信関係＞

・スカパーJSAT(JCSAT)

・東芝インフラシステムズ（JCSAT 用 平面手動捕捉型アンテナ）

・インテリジェントシステムズ

・宇宙技術開発

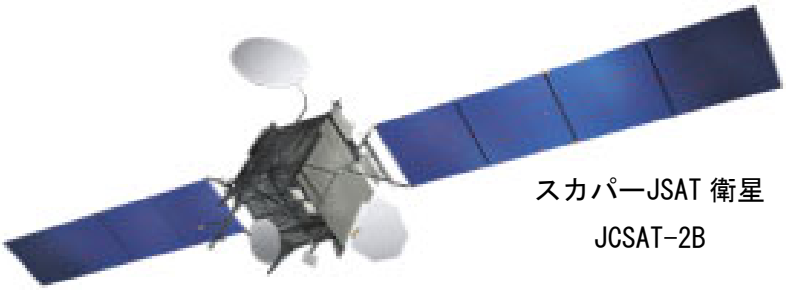
・NTT ドコモ（ワイドスターⅡ）

・東芝エレクトロニックシステムズ（J-SPEED）

・パスカル

（都道府県医・日医事務局災害時情報共有システム、日医役職員安否確認システム）

・宇宙航空研究開発機構（陸域観測技術衛星 2 号「だいち 2 号」(ALOS-2)）



スカパーJSAT 衛星
JCSAT-2B

スカパーJSAT
平面手動捕捉型アンテナ
（東芝インフラシステムズ製）

7．情報共有手段の概要

JCSAT（通信衛星） ExBird サービス災害医療プラン スカパーJSAT	• SED（宇宙技術開発）によるサポート • 三重県医師会館に「先遣 JMAT」が可搬型アンテナを携行して現地で利用（想定） • 日本医師会館でも利用
神奈川県医師会災害時医療救護本部	日本医師会・全国の都道府県医師会との TV 会議、先遣 JMAT の派遣等
日本医師会テレビ会議システム（LIVE ON）	被災地・非被災地の都道府県医師会・伊勢地区医師会と日本医師会との TV 会議
都道府県医師会メーリングリスト	被災地側・支援側の都道府県医師会と日本医師会との情報共有
都道府県医・日医事務局災害時情報共有システム	被災地側・支援側の都道府県医師会と日本医師会との情報共有
日本医師会役職員安否確認システム	日本医師会役職員の安否確認と共に、 非常呼集・休日出勤命令の実施
日本医師会 JMAT 本部サイト	各都道府県医師会において、編成した JMAT の登録、JMAT の活動報告、クロノロジー、参考文献ダウンロードなど
ワイドスターⅡ	伊勢地区医師会館、日本医師会館にて使用
J-SPEED	各都道府県医師会にて医師会ブロックごとに設定した三重県内の想定避難所の模擬患者情報を入力 また、J-SPEED 本部サイトにてその時の疾病構造、3 週間後の疾病構造（通常診療への移行傾向）などを確認、集計報告出力等
アマチュア無線	伊勢地区医師会における情報収集
だいち防災 WEB ポータル（JMAP（日本医師会地域医療情報システム）にて利用） JMAP 地域医療情報システム Japan Medical Analysis Platform	JAXA（宇宙航空研究開発機構）の「だいち 2 号」による被災地の津波浸水推定地域のデータを JMAP に取り込み表示　→　全国で情報共有

2019年度　南海大震災訓練
災害時情報通信訓練

コンセプト

○　本訓練は、スカパーJSAT「JCSAT」、NTTドコモ「ワイドスターⅡ」の通信衛星及び通常のインターネット回線を利用し、災害時における都道府県医師会と日本医師会とのＴＶ会議やウェブにより、全国での医師会間の情報の共有、JMATの派遣要請その他必要な措置を行う机上の訓練である。

○　本訓練は、日本医師会が、我が国最大の医師の団体として、プロフェッショナル・オートノミーに基づき、JMAT（日本医師会災害医療チーム）活動を中心として、甚大な被害を受けた被災地の支援・復興に医療提供者の立場から貢献するとの考えに基づく。

○　被害想定は、南海トラフ巨大地震（南海地震）によるものとし、地震津波を中心とする広域災害に対応することを目指す。

本訓練では、その地震による被害を「南海大震災」とする。

○　中央防災会議幹事会「南海トラフ地震における具体的な応急対策活動に関する計画」（2017年6月23日改定）を参考とする。

2019年度　南海大震災訓練
災害時情報通信訓練

１日目
対策本部を立ち上げ、被災地の三重県医師会、神奈川県医師会に対する先遣JMATの派遣要請
連絡の取れる全都道府県医師会との間でTV会議を行い、JMAT（統括JMAT）の編成・待機要請
JAXA「JAXAだいち２号」からの画像を基にJMAPにより被災地の状況把握

２日目
JMATの登録、統括JMAT・初期段階のJMAT派遣の開始
和歌山県医・高知県医と「きずな」、ワイドスターⅡでコンタクト。被害状況、両県医による被災地JMAT活動の情報交換

3日目～7日目
全国からのJMAT派遣開始（初期チーム）、j-seed入力開始
先遣JMATから統括JMATへの切り替え
DMATの撤収に向けた対応、日本災害医学会コーディネートサポートチームのJMAT派遣
日本環境感染学会DICTの派遣

地震発生

事態の概要反映

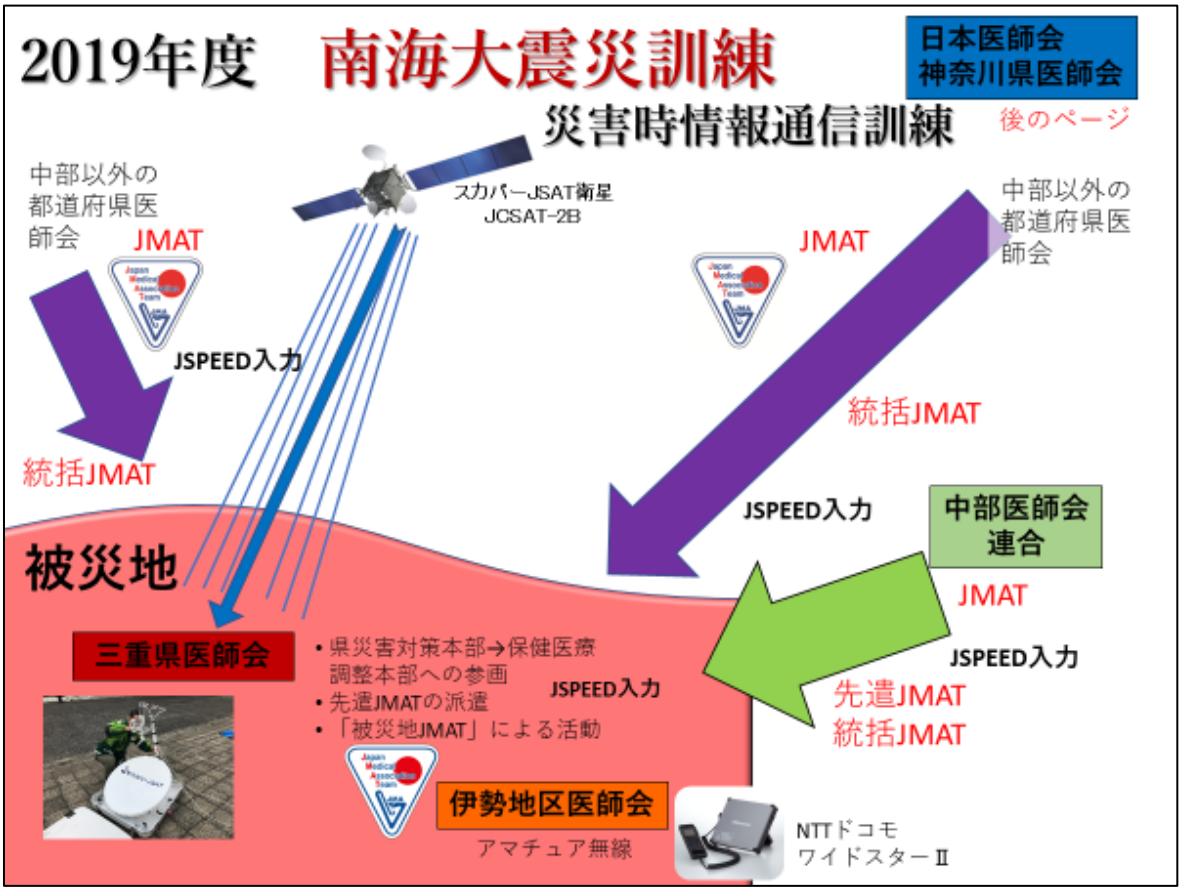
全国対応の開始

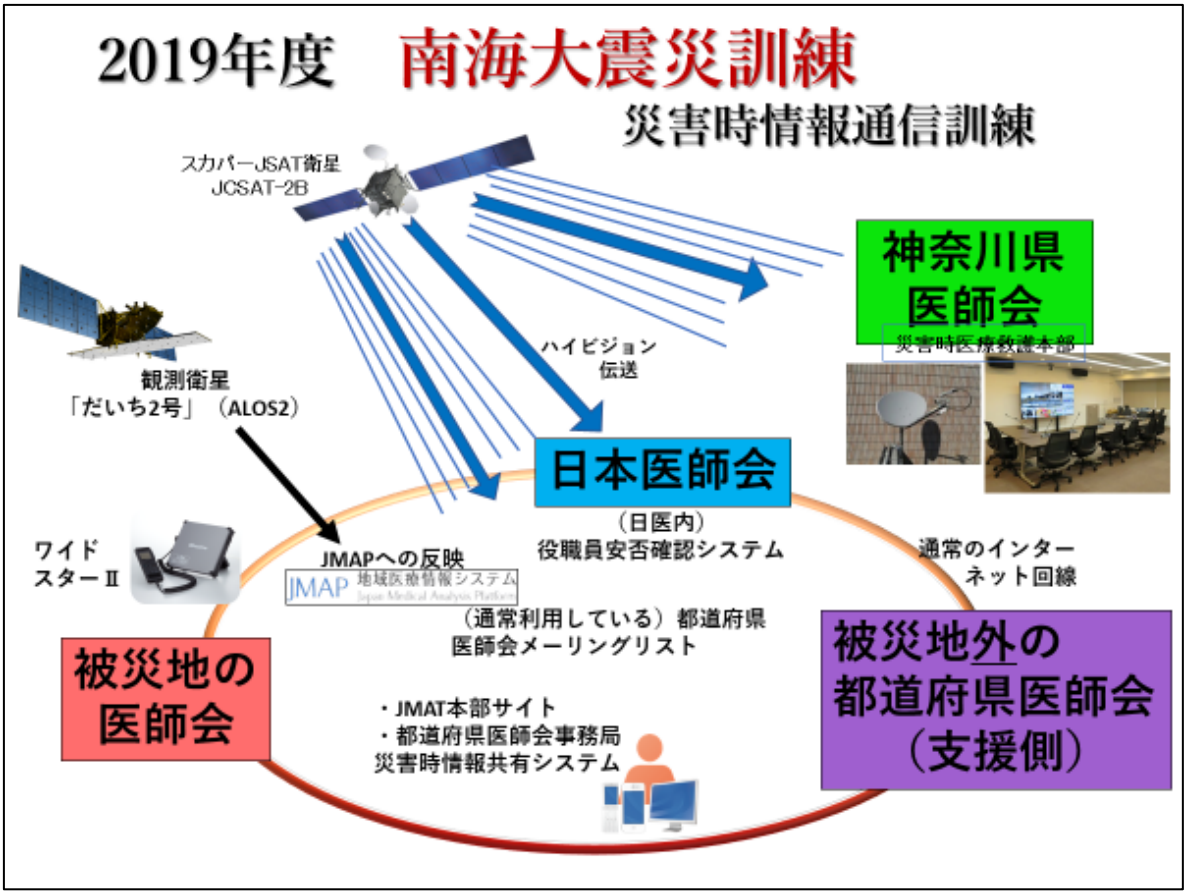
3週間経過後
J-SPEEDを基に統括JMATの評価により、被災地の患者像の変化に対応したJMAT派遣体制の見直し（派遣先の絞り込み、継続的な派遣）

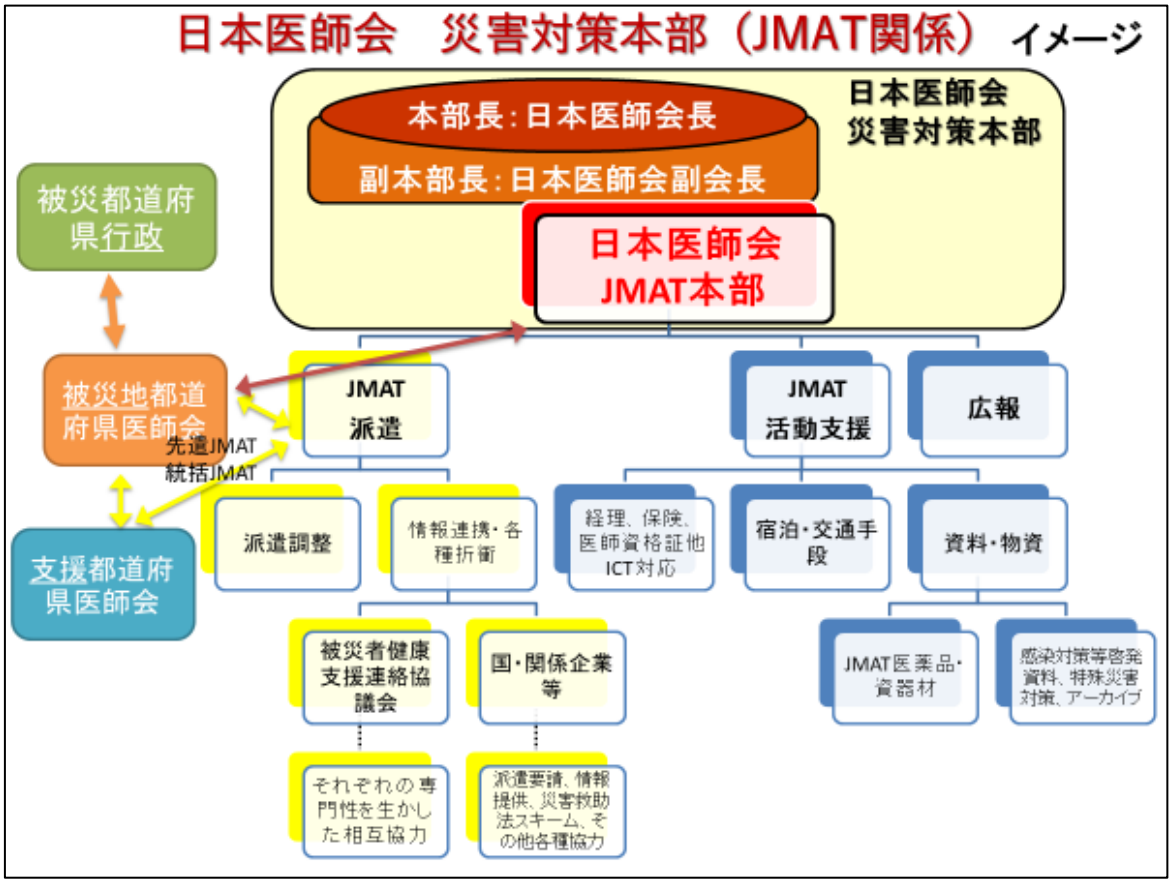
7～8週間経過後
被災地の医療支援ニーズの低下・消失
JMATⅡの派遣開始

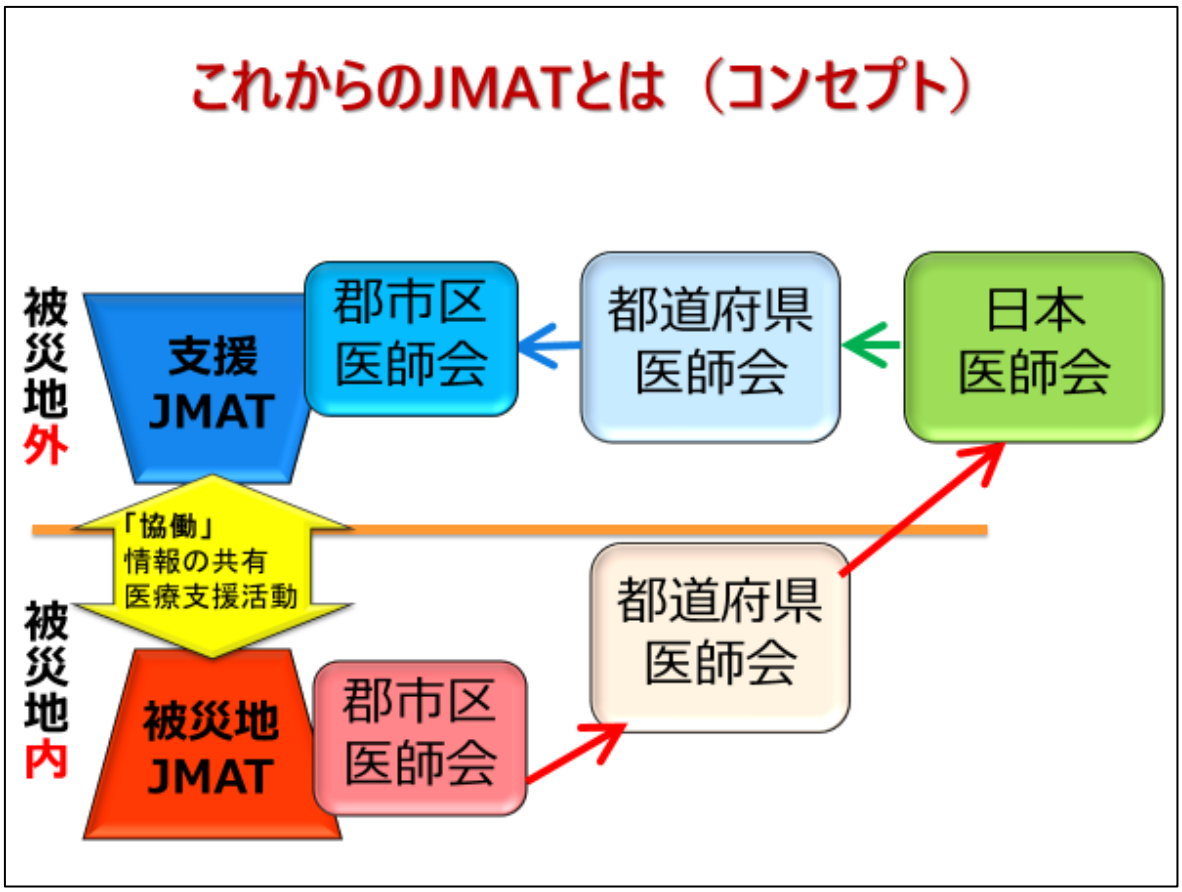
支援体制再構築

３か月後
地域医療、地域包括ケアの復旧に向けて

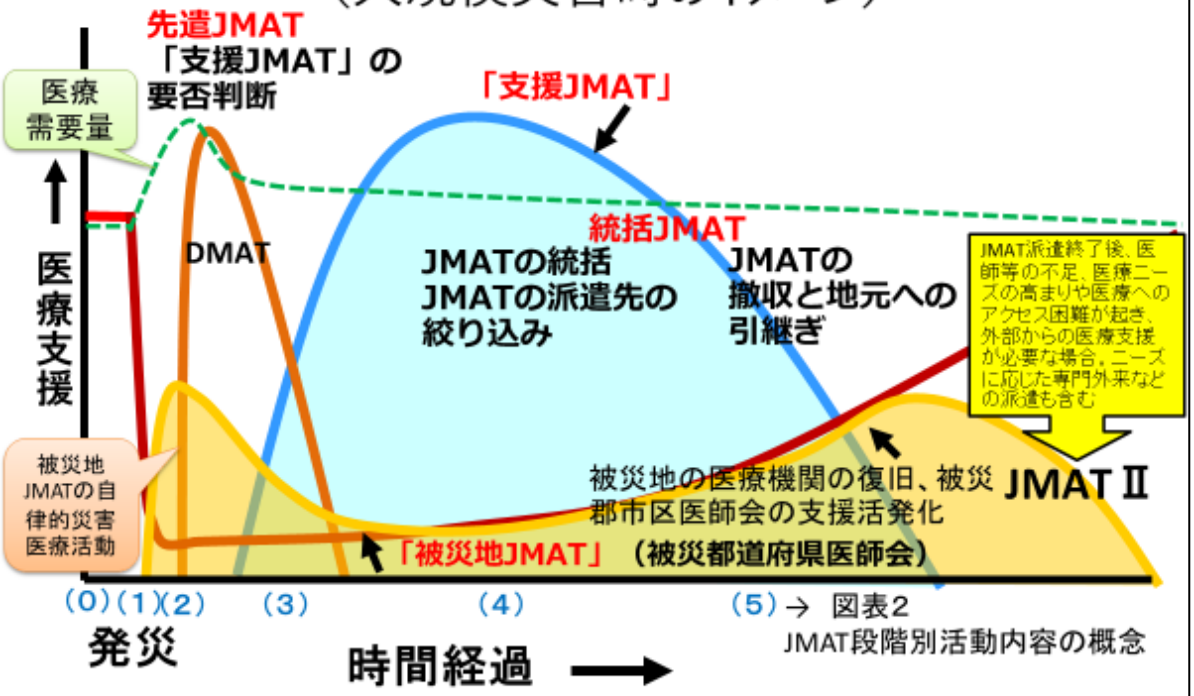

2019年度　南海大震災訓練
日本医師会
神奈川県医師会
災害時情報通信訓練
後のページ
中部以外の
都道府県医
師会
JMAT
JSPEED入力
統括JMAT
スカパーJSAT衛星
JCSAT-2B
JMAT
中部以外の
都道府県医
師会
統括JMAT
JSPEED入力
中部医師会
連合
JMAT
JSPEED入力
先遣JMAT
統括JMAT
被災地
三重県医師会
・県災害対策本部→保健医療
調整本部への参画
・先遣JMATの派遣
・「被災地JMAT」による活動
JSPEED入力
伊勢地区医師会
アマチュア無線
NTTドコモ
ワイドスターⅡ


2019年度　南海大震災訓練
災害時情報通信訓練
スカパーJSAT衛星
JCSAT-2B
神奈川県
医師会
災害時医療救護本部
観測衛星
「だいち2号」（ALOS2）
ハイビジョン
伝送
日本医師会
（日医内）
役職員安否確認システム
ワイド
スターⅡ
JMAPへの反映
JMAP 地域医療情報システム
通常のインター
ネット回線
（通常利用している）都道府県
医師会メーリングリスト
被災地の
医師会
被災地外の
都道府県医師会
（支援側）
・JMAT本部サイト
・都道府県医師会事務局
災害時情報共有システム


日本医師会　災害対策本部（JMAT関係）イメージ
日本医師会
災害対策本部
本部長：日本医師会長
副本部長：日本医師会副会長
日本医師会
JMAT本部
被災都道府県行政
被災地都道府県医師会
先遣JMAT
統括JMAT
支援都道府県医師会
JMAT
派遣
JMAT
活動支援
広報
派遣調整
情報連携・各種折衝
経理、保険、医師資格証他ICT対応
宿泊・交通手段
資料・物資
被災者健康支援連絡協議会
国・関係企業等
JMAT医薬品・資器材
感染対策等啓発資料、特殊災害対策、アーカイブ
それぞれの専門性を生かした相互協力
派遣要請、情報提供、災害救助法スキーム、その他各種協力


これからのJMATとは（コンセプト）
被災地外
支援
JMAT
郡市区
医師会
都道府県
医師会
日本
医師会
「協働」
情報の共有
医療支援活動
被災地内
被災地
JMAT
郡市区
医師会
都道府県
医師会

JMAT活動の概念図
（大規模災害時のイメージ）



日本医師会「JMATに関する災害医療研修会」（2012年3月10日）資料（「DMATとJMATの連携」（小林國男　日本医師会「救急災害医療対策委員会」委員長（当時）を改変したもの

JMATの段階別活動内容（概念図）

	JMAT活動	
（1）災害発生前 【登録・研修・啓発】	• 医師資格証・薬剤師資格証等への登録、JMAT隊員予定者の事前登録 • 関係者間の「顔の見える関係」の醸成 • 支援をする立場、支援を受ける立場での研修・訓練	
（2）災害発生直後 （ＤＭＡＴ等の到着前） 【活動開始の決定・事前確認・派遣】	• 主に、被災地の都道府県医師会による派遣（被災地JMAT：近隣の郡市区医師会や医療機関チームなど）（DMAT等や行政等の支援が行き届かない地域含む） • 先遣JMATの派遣と被災地医師会の災害対策本部への支援 • 在宅等の要配慮者の把握	先遣JMAT
（3）ＤＭＡＴ等の活動中 （発災後４８時間以内～中長期的な医療提供体制が都道府県によって確立されるまでの必要な期間） 【医療・検視検案】	• DMATが担う重篤症例以外の医療の提供（救護所・避難所などでのトリアージ、重篤以外の急性期患者、災害前からの医療の継続が必要な患者への対応） • 検視・検案の実施（対応可能な場合） ※防災基本計画等では、JMAT等の活動は、DMATの活動と並行して、またその終了後とされている。	先遣～統括JMAT
（4）ＤＭＡＴ等の撤収後 （ロジスティックス等として活動する場合を含む） 【医療支援継続・多職種連携・健康管理・公衆衛生・福祉支援】	• 避難所における医療、健康管理、巡回診療 • 被災地の公衆衛生、感染症対策 • 医療支援の不足・空白地域の把握 • 被災医療機関への支援 • 医療・介護・福祉連携	
（5）被災地の医療体制の復旧に目途（JMAT撤収に向けて） 【医療再開支援、引き継ぎシステム構築】	• 医療・介護・福祉連携 • 被災地の医療機関との引き継ぎ・情報共有 • 被災住民への説明（撤収へのロードマップ）	